

芸術制作見て感じて

岩見沢 大阪の夫婦 アトリエ公開



教育大生(右)と一緒に作品づくりに取り組む伊吹尚子さん

【岩見沢】プロの芸術家に市内に滞在してもらい、制作過程を市民に公開する「アーティストファミリーレジデンスイン岩見沢」が25日から、上幌地区集会所(栗沢町上幌)で始まった。大阪の画家伊吹拓さん(42)と妻の陶芸家尚子さん(44)

が、長男の音君(9)に手伝ってもらいながら8月12日まで作品制作に励む。同日から31日までは市民会館まなみーる(9西4)で展示会を開く。

イベント運営などに関わる市民有志の実行委が主催。伊吹さん一家は今後3

年間、毎年2週間程度滞在する。制作風景の見学は自由で、創作中の伊吹さん、尚子さんに話しかけることもできる。道教大岩見沢校の学生も、授業の一環で企画に参加し、制作の様子などを記録して会員制交流サイト(SNS)で発信する。

伊吹さんは「いろんな人と会話できるのを楽しみにしている」、尚子さんは「短期間の制作なので、何ができるか模索しながらやっていく」。音君は両親を手伝

ったり、風景画を描いたりする予定で、「いろんな所に行っていい風景を見つきたい」と話した。

制作現場の公開は、8月5日までが上幌地区集会所、同6日～12日までがまなみーる展示室で、いずれも午前11時～午後4時。7月28日までは陶芸の体験もできる。入場無料。問い合わせは実行委の中野聖さん ☎090・7057・9594へ。

(石川実和)